

第2回 甲南映画祭 '24 《移民映画特集》居場所はどこ？

11/
30 (土)

甲南大学岡本キャンパス
図書館視聴覚ホール

山田勇人 監督『暮らす人』(2020年:64分)

14:00-15:20 上映

15:30-17:30 山田勇人 監督(映像作家) 講演・トークセッション 司会 友田義行教授
河越恭子氏(三木市国際交流協会事務局長)
Da Silva Ferreira Sueli 氏(『暮らす人』出演)

12/
02 (月)

甲南大学岡本キャンパス
図書館視聴覚ホール

アリス・ディオップ 監督『サントメール ある被告』(2022年:123分)

12:30-14:35 上映

14:40-15:40 ファヨル入江容子講師 解説

15:40-17:45 上映

12/
03 (火)

甲南大学岡本キャンパス
図書館視聴覚ホール

川和田恵真 監督『マيسモールランド』(2022年:114分)

12:30-14:25 上映

14:30-15:30 川和田恵真監督 講演と Q&A 司会 中町信孝教授

15:40-17:35 上映

12/
05 (木)

甲南大学岡本キャンパス
図書館視聴覚ホール

大島渚 監督『絞死刑』(1968年:117分)

14:40-16:50 上映

17:00-17:50 トークセッション 西田博至氏(映画評論家)・友田義行教授

12/
06 (金)

甲南大学岡本キャンパス
図書館視聴覚ホール

黒澤明 監督『八月の狂詩曲』(1991年:98分)

12:30-12:50 出口晶子教授 解説

12:50-14:30 上演

14:40-15:40 森年恵講師 解説(20分)+フリーディスカッション(40分)

12/
07 (土)

甲南大学岡本キャンパス
図書館視聴覚ホール

14:00-16:30

12/
08 (日)

08 (日)

14:00-16:30

寺嶋真里 監督&メイン出演者のトーク(30分) 司会 川田都樹子教授

『EXPO'70 前衛の記憶〜アコを探して』
(甲南大学人間科学研究所製作:2024年:60分)

詳細・参加申し込みは人間科学研究所 HP
または X より

『スペース・プロジェクション・アコ』
(松本俊夫監督:1970年:15分)

『横尾忠則インタビュー』
(2024年:30分)



HP



X

お問い合わせ:kawata@konan-u.ac.jp (川田)



山田勇人 監督



『マيسモールランド』
©2022「マيسモールランド」製作委員会



『絞死刑』©1968 大島渚プロダクション

会場地図

● 甲南大学 岡本キャンパス



阪急「岡本」駅より徒歩約10分

JR「摂津本山」駅より徒歩約12分

● デザインクリエイティブセンター神戸 (KIITO)



JR「三宮」からPort Loopバス10分

お問い合わせ: 甲南大学文学部事務局
bun@adm.konan-u.ac.jp

今年度、甲南大学文学部では「横断演習Ⅰ」という授業で、移民をテーマにした映画を取り上げました。この授業は、専門を異にする教員がそれぞれ移民に関する映画を紹介し、その映画を観た学生たちと意見を交換しながら、現代社会における移民の問題を考えていくという趣旨で行われました。取り上げた映画の舞台は様々で、背景となる時代もヴァリエティに富んでいましたが、その中で学生たちから、「どの映画も『居場所』を探し求める姿は共通しているのでは？」という感想が上がりました。映画の登場人物たちは、ある者は苦心して故郷に帰ろうとし、ある者は移り住んだ土地に必死に馴染もうとしますが、いずれの場合も自分にとってのよりよい居場所を求めて懸命に努力する姿が、私たちの感動を誘ったのでした。

今年の甲南映画祭では、そんな移民たちによる「居場所探し」を描いた作品を5本取り上げ、《移民映画特集》として上映会とトークイベントを行います。学生たちの考えた「居場所はどこ？」というキーワードから、自分の居場所を探す移民たちと彼らを取り巻く人びとの姿をより身近に、より切実に感じることができるようでしょう。もちろん、映画の中の彼らの姿が、現実社会の深刻な問題を反映していることも忘れてはならないでしょう。

また、大阪・関西万博の開催を翌年に控え、1970年の大阪万博(EXPO'70)を振り返る特別上映企画も並行して行います。過去の万博を調査研究する甲南大学生たちが製作に関わった新作ドキュメンタリーを含む3作品。併せてご覧ください。